

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 大月駅周辺地区

平成26年3月

山梨県大月市

## 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由			
指標1	駅利用者(乗車人員)	人／日	7,181	7,540	6,054	確定 見込み	●	○	あり なし	9,181	H26年3月	○	富士山世界文化遺産登録に先立ち、JR大月駅及び富士急行線大月駅を利用する人口が増えたため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅前広場等の整備に加え駅周辺において継続的なイベントを実施したことにより、駅の利便性の向上が図られ、駅利用者数の増加につながった。
指標2	歩行環境の満足度	%	3.7	50.0	68.9	確定 見込み	●	○	あり なし	84.90	H25年1月	○	完成予想図による歩行環境の評価より、実際に利用した際の評価が高かつたため <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅前広場の交通基盤整備により、歩行者が安心して快適に利用出来るようになつたことから、歩行環境の満足度が向上した。
指標3	住民参加のイベント等参加者数	人／年	18,600	25,000	60,700	確定 見込み	●	○	あり なし	40,000	H24年10月	○	社会実験でイベントを継続して行く回数を過大に見込んだため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	社会実験により実施したイベントを地元住民が継続して実施し、また、他のイベントとも連携して開催することにより、来訪者が増加し、活気ある中心街地の活性化に寄与している。
指標4						確定 見込み			あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由		
その他の数値指標1	「駅前広場の交通施設の安全性向上」の評価点	点	3.0	4.0	確定 見込み	●	/	/	4.3	H25年1月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅前広場の道路整備などが行われたことにより、歩行者・車両双方にとって安全性が高まった。
その他の数値指標2	「駅周辺のパリアフリー状況」の評価点	点	3.0	3.87	確定 見込み	●	/	/	4.1	H25年1月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路の歩道整備により、歩道者、特に高齢者やハンドicapのある方などの安心安全な歩行空間が確保された。
その他の数値指標3	「駅周辺整備による景観向上」の評価点	点	3.0	3.96	確定 見込み	●	/	/	4.0	H25年1月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅周辺の交通環境が整備されたことにより、ゆとりと潤いのある空間が確保された。また、駅前ファサード計画の策定作業を通じて地元が景観について考えるきっかけがまちづくりを進めていく上でプラスになった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を継続させるために 行う方策	線路北側・南側から駅への良好なアクセス環境の維持	線路南側においては駅前広場や周辺の道路整備の実施、線路北側においては、大月賑岡線の整備や民営のコインパーキングの整備などを実施した。	バイパス等、周辺道路から駅へのアクセス性が向上した。	線路南側だけでなく、北側からの駅へのアクセス性の向上も図るとともに、市民意識啓発活動等を実施し、良好なアクセス環境の維持に努める。
	整備された良好な歩行環境の維持	駅前整備の完成に伴い、駅前広場の清掃と路面点検業務等を継続的に実施した。	適切な維持管理により、良好な歩行環境が維持されている。	今後も継続して清掃や路面点検業務等を実施し、良好な歩行環境の維持に努める。
改善策  ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	線路を中心とした南北方向の交流の活性化	地元商店街が実施する「コンシェルジュ事業」や、JRが「駅からハイキング」などイベントを相互に連携し実施した。	周辺住民だけでなく、市内、市外からの来訪者が増え、南北方向の人々の交流につながった。	継続的にイベントを実施するとともに、駅南北方向の連絡機能の強化に向けた検討を行う。また、駅前だけでなく中心市街地の活性化に向け、交流拠点の整備や観光客の増加に向けた施策について検討を行う。
	駅北側の大規模空閑地の土地利用の促進と、土地利用規制の見直し	庁内において、土地利用の促進を図るため、駅北側の市街地の将来像を検討し、民間活力導入のための施策を検討した。	現状の土地利用における課題等が抽出され、土地利用促進に向けた取組み等、庁内での共有化が図れた。	施策を明確にし、市の財政状況を踏まえながら、空閑地を有効利用するための周辺整備を検討する。
	市民や来街者が滞留できるゆとりある空間の整備	駅周辺の歩行者空間の整備を実施した。また、駅前の景観に関する申し合わせ事項を策定した。	駅周辺において、ゆとりある歩行者空間の確保と良好な景観形成が図られ、市民や来街者が安心して快適に利用できる環境が整備された。	安心して快適に利用できる環境を維持するため、周辺住民と連携した空間の活用及び維持管理方策を検討する。また、景観条例策定により、良好な景観の維持に努める。
	線路北側から駅へのアクセス改善	線路北側について、大月賑岡線の整備や民営のコインパーキングの整備などを実施した。	駅への動線が確保され、アクセス性が改善した。	線路北側においては、駅へのアクセス性は十分でないため、今後も引き続き、アクセス改善方策を検討する。
	地区内のバリアフリー未対応箇所への対応	駅南側全ての歩道にバリアフリー化を実施した。また、横断歩道には、エスコートゾーンの設置を行った。	線路南側の地区内歩行環境が改善された。	今後の整備においても、誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化の推進に努める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画

おおつきえきしゅうへん  
大月駅周辺地区

やまなしけん おおつきし  
山梨県 大月市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	大月市	地区名	大月駅周辺地区	面積	274 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

### 目標

- 大目標：交通結節機能の強化を契機にした、安心・安全で快適な生活環境の創出と中心市街地の活性化  
 目標1：駅南北における交通機能の新設・改善と南北の連絡機能強化 -「交通結節機能の強化」  
 目標2：活力ある中心市街地の再生に向けた安全・快適な生活環境の創出、「安全で快適な交通基盤の整備」  
 目標3：自然と歴史を取り込んだ大月の顔となるまちなみ景観の創出 -「良好な景観形成」

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

1. 中心市街地の衰退への対応  
大月駅周辺の市街地は、市制以後、長い間大月の行政・商業・業務・教育の中心地であった。現在も中心地としての機能を有しているものの、モータリゼーションの進行、郊外店舗の立地、高い地価、商店の後継者不足、住民の高齢化等により既存商店街の空洞化と活力の低下が進んでいる状況にある。
2. 駅北口の工場移転に伴う大規模な空閑地の発生  
大月駅の北口においては、平成15年7月に興和コンクリート(株)大月工場が県外に移転し、約33,000m<sup>2</sup>の大規模な空閑地が発生した。駅北口の市街地は、駅近接という立地に加え、大月市街地では数少ない平坦な市街地であり、周囲を山に囲まれている中心市街地の中で、日照条件がよく、桂川や岩殿山といった大月を代表する自然を併せた良好な環境である。そのため、本空閑地の有効活用を促進するにも、駅周辺整備が求められる。
3. 駅北口の開設と南北市街地の連携強化  
大月駅には、市内各所へと連絡するバス及びタクシーの利用が多い。しかし、駅改札口は、南側にのみ設置されており、駅前広場が整備されていないため、バス、タクシー、自家用車といった自動車交通が輻輳している状況にある。これまで、JR中央線により分断された南北市街地の関連性は希薄であったが、駅北口への新拠点の形成に伴い、駅南側の既成市街地と連携を強化し、魅力ある市街地形成を図ることが求められる。
4. 歩行者・来街者の交通安全性と快適性の確保  
駅周辺の道路では国道20号以外は歩道が整備されておらず、駅を利用する市民や観光客が安全で快適に利用できる交通基盤施設の整備を図ることが求められる。
5. 高齢化への対応等、多様なニーズに対応した都市環境の形成  
本市の高齢化率は平成18年現在で26%に達しており、今後の更なる高齢化社会を迎えるに当って、高齢者などの交通弱者が安心して歩行できるよう交通環境の改善を図ることも求められる。
6. まちづくり活動  
都市再生整備計画の作成にあたっては、議会代表・駅利用者・関係行政機関・地元関係者・学識経験者からなる検討委員会を組織するとともに、市役所内にも推進委員会を設置し検討を進めている。また、市民参加と情報公開のもと、市民アンケートの実施や委員会の一般傍聴、議事録の公開を行い、まちづくりへの市民理解を深めている。

### 課題

- 大月駅南北地区が連携した新たな都市拠点を整備するためには、南北交流軸を整備し、多様なニーズに対応した安全で良好な都市環境の形成が課題である。  
 ・駅と近接しているものの、駅北側には乗降口がなく、また連絡通路も近傍になかったことから都市基盤が脆弱であり、市民の南北方向の交流が稀薄であったので、交通環境を改善し駅を中心とした各方面からの歩行導線の確保が必要である。  
 ・駅北側の大規模空閑地の土地利用を促進し、民間活力導入を図るためにには、土地利用規制を見直すことが必要である。  
 ・地区周辺には公園等身近な公園空地が不備であり、市民や来街者が滞留できる、ゆとりある空間の整備が必要である。  
 ・駅の交通結節機能を強化するためには、ハイバスと連携し駅周辺において都市基盤施設の整備を行うとともに、中心市街地として相応しい機能導入を図る必要がある。  
 ・高齢化が顕著に進行している地区であるが、地区内道路の街路は不整備であり、交通弱者に対応した道路整備を早急に着手する必要がある。

### 将来ビジョン(中長期)

- 道路機能の適正化と併せて、土地利用の高度化を進め、利便性、回遊性の高い魅力ある都市として土地利用を誘導する新たな基盤整備。  
 ・中心市街地活性化基本計画における将来像では、「自然・歴史をとりこんだ大月の顔となる地域密着型+駅前サービス型の商業地づくり」を目指している。(平成14年3月策定)  
 ・大月市第5次総合計画中期基本計画(アクティブラウジング)では、山梨県東部の中心都市にふさわしい業務機能の集積を目指し、快適性の高い市街地の形成を図る地区として位置づけられている。(平成13年3月策定)  
 ・都市マスター・プランにおいては、「活気あふれるにぎわいのまち」をテーマに広域交通軸の結節点に位置する拠点性を生かし、県東部の中心地にふさわしいにぎわいと活力を持った市街地の整備が、方針とされている。(平成10年3月策定)

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		目標年度
					基準年度	目 標 年 度	
駅利用者数(乗車人員)	人／日	1日あたりの駅利用者数の計測	交通利便性向上を計測する指標	7,181人／日	H17年度	7,540人／日	H23年度
歩行環境の満足度	%	駅利用者による、歩行環境の満足度(満足度調査による)	交通利便性向上を計測する指標	3.7%	H18年度	50.0%	H23年度
住民参加のイベント等参加者数	人／年	駅前広場や道路空間等を活用したイベントへの参加者をカウントして算出する	活力ある中心市街地の再生を計測する指標	18,600人／年	H17年度	25,000人／年	H23年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<b>整備方針1:交通機能の新設・改善と南北の連絡機能強化</b> ・南口駅前広場を整備し、大月駅を中心とした交通機能の改善を図る。	道路事業(都計道大月駅前通線(南口駅前広場)、市道駅前通り線、市道駒橋栄町線、市道駒橋栄町支線、市道大月賑岡線)
<b>整備方針2:安全・快適な生活環境の向上</b> ・高齢者などの交通弱者が安全で快適に利用できる交通基盤の整備とバリアフリー化を図る。 ・市民や来街者が交流・滞留できる駅前広場を整備する。	道路事業(都計道大月駅前通線(南口駅前広場)、市道駅前通り線、市道駒橋栄町線、市道大月賑岡線、市道駒橋栄町支線)、高質空間形成施設(公衆用トイレ)、高次都市施設(観光案内所)、地域創造支援事業(防犯カメラ、空き店舗対策)
<b>整備方針3:大月市の特性をいかした景観形成</b> ・魅力向上のため、玄関口にふさわしい駅・街路景観の形成を図る。	地域創造支援事業(空き店舗対策、駅前ファサード計画策定、まちづくり推進検討委員会)

## その他

### ○人の交流を図るための方策について

- ・駅前の商店駐車場で大月青年会議所が農家と連携して行なっている土曜夕市を駅前広場のスペースで開催することを計画したい。
- ・駅前広場でイベント(フリーマーケット・音楽会・各種発表会等)を開催することを計画したい。
- ・国道20号大月バイパスの一部供用開始に伴い国道を利用した「歩行者天国」を開催することを計画したい。
- 交付期間中の計画の管理について

・交付期間中において、各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果を上げるために、行政と地元関係者からなる「まちづくり推進検討委員会」を設立する。

### ○事業終了後の継続的なまちづくり活動について

- ・地元商店街代表者、消費者、行政関係者等からなる「まちづくり協議会」を設立し、継続的な活動(研究会・講演会等)を予定している。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		2,090	交付限度額		833.20	国費率		0.399	(金額の単位は百万円)						
基幹事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	終了年度	(参考)全体会 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
道路	街路	都計道大月駅前通線(南口駅前広場)	大月市	直	A=3000m <sup>2</sup>	19	23	19	23	1,332	1,332	1,332		1,332	
地方道		市道駅前通り線	大月市	直	L=105m	19	22	19	22	486	486	486		486	
地方道		市道駒橋栄町線	大月市	直	L=152m	19	23	19	23	104	104	104		104	
地方道		市道大月脇岡線	大月市	直	L=74m	20	22	19	21	56	56	56		56	
地方道		市道駒橋栄町支線	大月市	直	L=45m	19	21	19	20	56	56	56		56	
公園															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム		—			—										
高質空間形成施設		—	大月市	直	—	19	23	19	23	19	19	19		19	
高次都市施設		—	大月市	直	—	19	22	19	22	5	5	5		5	
既存建造物活用事業		—			—										
都市再生交通拠点整備事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地	拠点開発型														
総合整備	沿道等整備型														
事業	密集住宅市街地整備型														
耐震改修促進型															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										2,058	2,058	2,058	0	2,058	
提案事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	終了年度	(参考)全体会 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
地域創造支援事業	防犯カメラ 空き店舗対策		大月市	直	1箇所	22	23	22	23	2	2	2		2	
			大月市	間	1箇所	19	23	19	23	4	4	4		4	
事業活用調査	駅前アーケード計画策定 事業評価調査	—	大月市	直	—	19	19	19	19	2	2	2		2	
まちづくり活動推進事業	まちづくり推進検討委員会	—	大月市	直	—	23	23	23	23	5	5	5		5	
合計						19	23	19	23	19	19	19		19	
(参考)関連事業															
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いざれかに〇)				事業期間		全体事業費				
桂川流域下水道関連大月市公共下水道事業	大月市内	大月市	国土交通省	A=289.1ha	直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度					
一般国道20号改築工事(大月バイパス)	駒橋3丁目～花咲	国土交通省	国土交通省	L=3.2km	○				H5	H21		12,920			
県道大月停車場線	大月1丁目	山梨県	国土交通省	L=60m	○				S48			25,000			
街路(交通結節点改善事業)	大月3丁目・御太刀2丁目	大月市	国土交通省	A=260m <sup>2</sup>	○				H19	H23		480			
合計									H20	H23		28			
												38,428			
													合計(A+B)	2,090	